

伊豆大島の地磁気異常及び三次元磁気構造*

Geomagnetic Anomaly and 3D-Geomagnetic structure in and around Izu-Oshima

海上保安庁海洋情報部

Hydrographic and Oceanographic Department, Japan Coast Guard

海洋情報部は2003年3月に航空機(Y511)による全磁力測定を伊豆大島周辺で実施した。

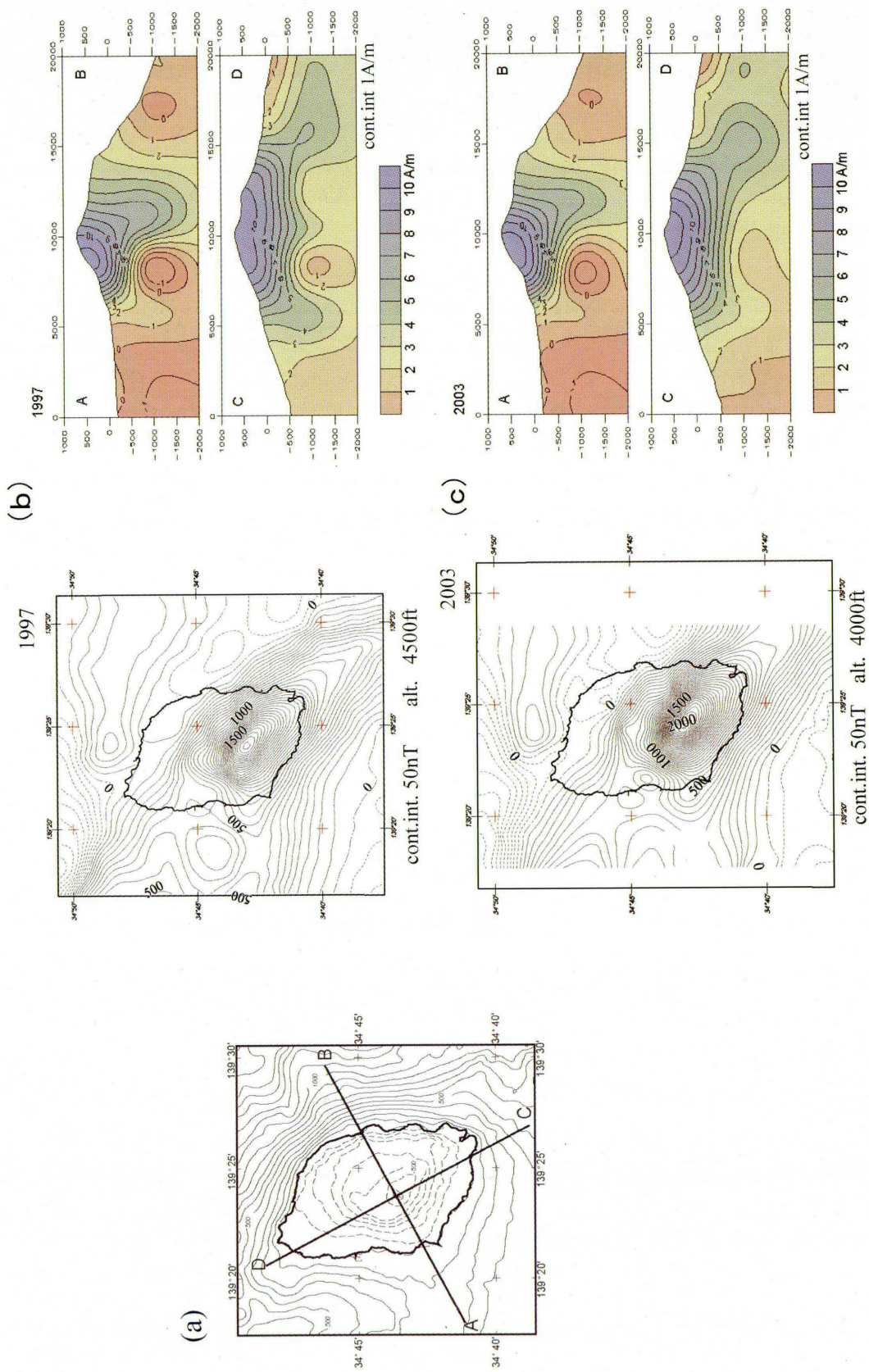
伊豆大島については、1997年10月にも測量しており、これらの地磁気異常分布から、山体の磁化をトモグラフィ的に3次元で求める方法¹⁾により得られた伊豆大島の磁氣的構造及びその時間変化について報告する。

- 1 山体は南西側で高い磁化強度を示し、北東側及びその地下では磁化が相対的に低い。
- 2 山体の西側の基底部以深に熱消磁を示唆する磁化強度の低い場所が局所的に存在する。
- 3 山体の基底部以深には、北西-南東方向の貫入岩体を示唆する高磁化強度域が存在する。
- 4 1997年との比較では、磁氣的構造に顕著な変化は認められない。

参 考 文 献

- 1) 植田義夫他(2001): 2000年噴火以前の三宅島の3次元構造-地磁気トモグラフィの試み-水路部研究報告, 37, 19-36

* Received 25 March, 2004



第1図 伊豆大島地磁気全磁気異常図及び三次元磁気構造図
 (a) 地形及び断面位置 (b) 1997年測量 (c) 2003年測量
 Fig.1 Geomagnetic total intensity anomaly and 3D-geomagnetic structure in and around Izu-Oshima.
 (a) Topography and Locations of profiles (b) Surveyed in 1997 (c) Surveyed in 2003